

1、第二回ワークショップの全体の進め方

1.はじめに（課長挨拶） (5分)

2.前回のワークショップでの結果説明 (10分)

3.ワークショップの進め方についての説明 (10分)

- MICEについての説明、周辺道路整備の説明を行う。
- 将来像と具体的なアイデア（p3資料による説明）
- テーブル・シャフル

4.ABC地区とDEF地区の地域別にワークショップ開催 (80分)

各グループとも、司会、ファシリテータを中心に進行します。

- メンバーの自己紹介（9人（司会、ファシリテータ除く）、1分/人×9人、9分）
- 将来像と具体的なアイデアを書いてもらい、内容を説明、地図上の該当地域に貼付（9人×1.5回×5分/人≒70分）。
- 話し合いのまとめと発表者依頼（10分）

5.グループの話し合いの結果発表 (20分)

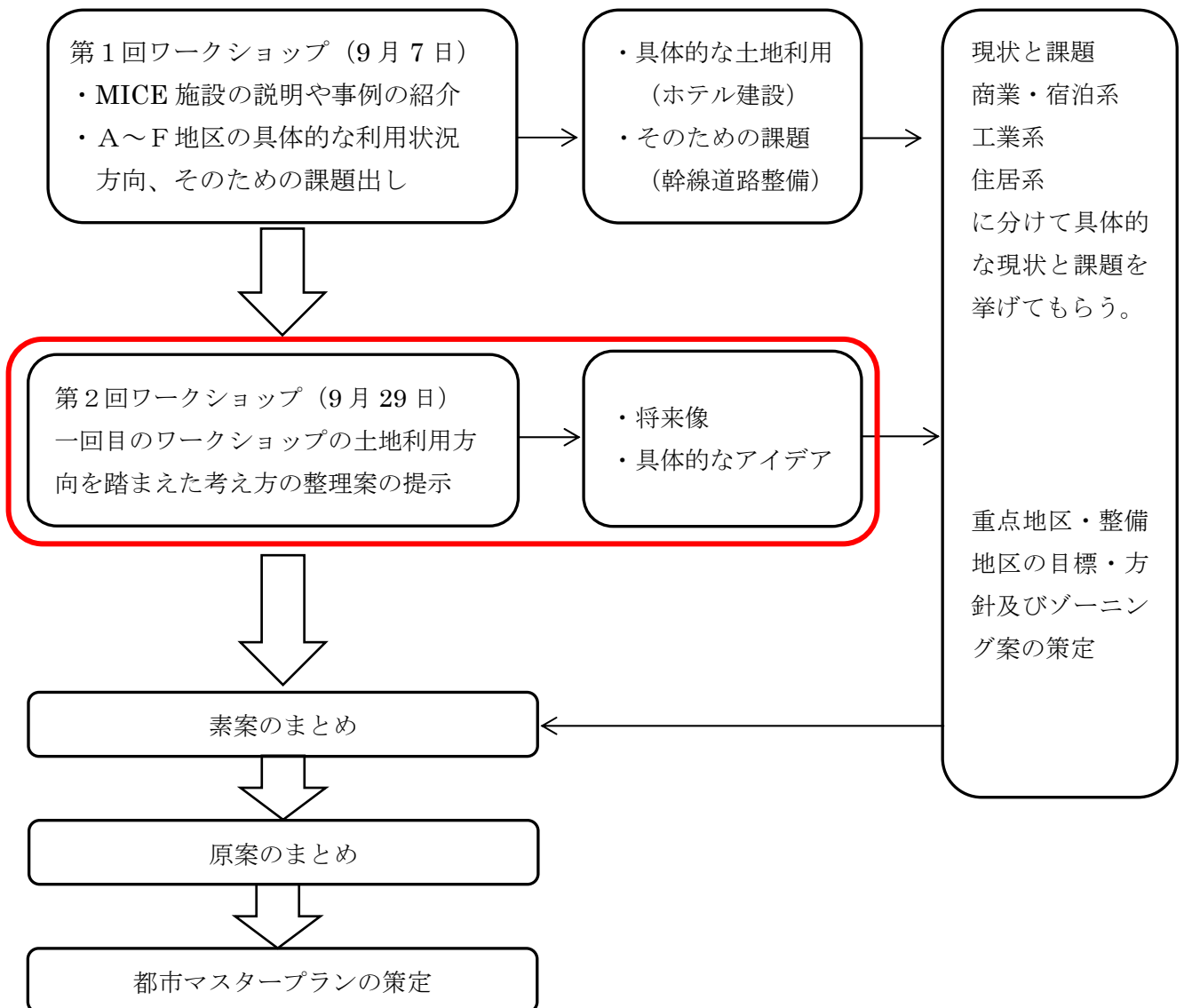
- 各グループ、前に出てもらい発表者が話し合いの内容を発表します（5分/テーブル×4テーブル=20分）。

6.おわりに・・・(感想など) (10分)

- 付箋紙に今日の感想を書く。
- 出入口に準備したボードに付箋紙を貼り付け、終了。

2、ワークショップの概要

進め方の基本的な流れ



3、ワークショップのラベル記載と添付まで

第一回ワークショップの意見のまとめ(別紙参照)

AB 地区…宿泊施設・宿泊支援施設希望者が多い。

C 地区…宿泊支援施設希望者が多い

D 地区…宿泊支援施設・住宅希望者が多い

EF 地区…住宅希望者が多い



ABC 地区

(MICE 周辺地区)



DEF 地区



地区間を区分する。



将来像：**赤いボールペン**で記載

具体的なアイデア：**黒いボールペン**で記載

付箋紙作成

将来像：赤いボールペンで記載

具体的なアイデア：黒いボールペンで記載



役所・コンサルより質問(即地的な提案に対して)

何故？ (具体的なアイデア)

どこで？

規模は？

図面に書き込む

4、話し合いにあたってのお願い・ルール

この地権者ワークショップでは体験型勉強会、体験型話し合いの場で「共同作業法」検討方法を採用していきます。この方法の良いところは、さまざまな整備にとっても重要な地権者がまちづくりに意見や提案を自由に話し合える事、出された意見や提案を目に見える形で整理しながら検討することにあります。そこで、この場を有意義なものにするために、次のようなお願いとルールを守って話し合いをしてください。

- ・参加者は自由に、活発に意見を言おう。
- ・みんなの話を聞こう。1人で話すのはやめよう。
- ・他人の意見や提案を批判するのはやめよう。
- ・たくさん意見が出るように、話を盛り上げよう。
- ・みんなで楽しく参加しよう。